

# H-519へ切替えるための測定値相関取得方法

## 相関取得が必要な場合

OCMA-505/555と従来の油分抽出溶媒H-997で得られた測定値によって、品質管理をしている場合や規格値を設けている場合、新油分抽出溶媒H-519へ切替えるための相関取得作業が必要です。OCMA-505-H/555-Hの濃度補正機能やゼロシフト機能を使用すると、H-519で得られる数値を、H-997を用いた場合の数値に換算できます。

## 相関取得の手順

- 1 OCMA-505 / 555とH-997を用いて、3種のサンプルを測定します
- 2 OCMA-505-H / 555-H とH-519を用いて、①と同じ3種のサンプルを測定します
- 3 H-519で得られたデータをX軸、H-997で得られたデータをY軸にして近似直線を作成します
- 4 ③で作成した式のxにH-519で得られた測定値を入れると、H-997での測定値に換算できます

	H-997	H-519
サンプル 1	66.6	62.0
サンプル 2	32.8	31.0
サンプル 3	22.5	22.0

表1. 3種のサンプルによる測定結果(mg/L)

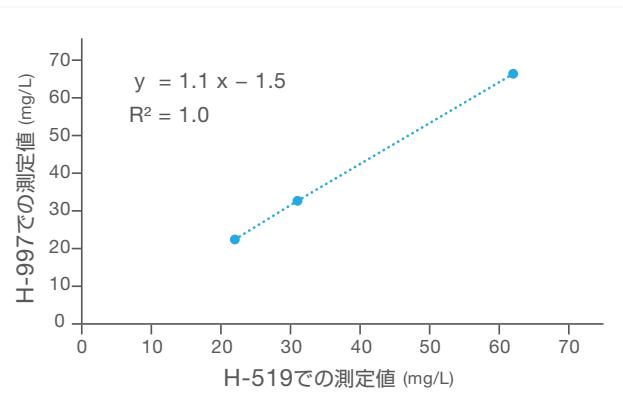


図1. 表1をもとに作成した散布図、近似直線

上記の場合、図1の式 ( $y = 1.1 x - 1.5$ ) より、H-519で得られた測定値をxに代入して計算すると、H-997での測定値を求められます。また濃度補正機能やゼロシフト機能を使用する場合、測定設定の濃度補正の項目に1.1を、ゼロシフト補正値の項目に - 1.5を入力すると、H-519で得られた測定値をH-997を用いた場合の測定値に換算できます。

※上記のデータは一例です。サンプル数、グラフの傾き、切片などは場合によって、異なります。



HORIBAグループでは、品質ISO9001・環境ISO14001・労働安全衛生ISO45001を統合したマネジメントシステム (IMS:JQA-IG001) を運用しています。さらに事業継続マネジメントISO22301を加え、有事の際にも安定した製品・サービスを提供できるシステムに進化しました。



正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

●このカタログの記載内容については、改良のために仕様・外観等、予告なく変更することがあります。●このカタログの製品詳細については別途ご相談ください。  
 ●このカタログと実際の商品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合もあります。●このカタログに記載されている内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。  
 ●このカタログに記載されている製品は日本国内仕様です。海外仕様については別途ご相談ください。●このカタログで使用されている製品画面は、はめ込み合成です。  
 ●このカタログに記載されている各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

## 株式会社 堀場アドバンスドテクノ

〒601-8306 京都市南区吉祥院宮の西町31番地 075-321-7184

<http://www.horiba-adt.jp>

東 北 022-776-8253

東 京 03-6206-4751

名古屋 052-937-0812

九 州 092-292-3595

大 阪 06-6390-8211

四 国 087-867-4841

広 島 082-281-2001

●製品の技術的なご相談をお受けします。カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル **0120-37-6045**

受付時間/9:00～12:00、13:00～17:00

【祝祭日を除く月曜日～金曜日】

※携帯電話・PHSからでもご利用可能です。

※一部のIP電話からご利用できない場合がございます。

カタログNo. HAJ-R0240Aa

Printed in Japan 2007SK00